

P C B 廃棄物処理施設の操業状況について

JESCO 豊田事業所

豊田事業所では、真空加熱分離エリアの熱交換器の破損による冷却水漏れなどの不具合が発生したことから、本年2月14日以降施設全体の運転を停止して、不具合設備の補修のみならず、類似設備等の点検や施設の安全性（流出防止機能の健全性）の確認を行ってまいりました。

それらの補修を施工した設備の安全性を確認し、引き続き実施した定期点検も終了したことから、6月28日（木）から施設の運転を再開いたしました。

再開後は、これまで以上に安全に留意して処理を行ってまいります。

これまでご心配・ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げますとともに、当施設の事業につきまして引き続きご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

1. 運転再開後の主な操業状況等について

①運転再開後は、操業停止時に処理ラインから外していたトランス容器・鉄心・コンデンサ素子等の解体後の未処理物を優先して処理しました。

（再開時にはコンデンサ120台、小型トランス7台、大型トランス1台を保管）

②P C B 廃棄物の処理について

- ・ 大型トランスは、7月2日から抜油・洗浄を開始しました。
- ・ 小型トランスは、7月5日から抜油・洗浄・解体作業を開始しました。
- ・ コンデンサは、7月13日から抜油・洗浄・解体作業を開始しました。

③認定済の収集運搬事業者（全14社）に対して7月3日、当面の受入計画等の説明会を実施しました。

④PCB 廃棄物の受入について

- ・ コンデンサは、7月17日から24台の受入を開始しました。
- ・ 車載トランスは、7月17日から1台の受入を開始しました。
- ・ トランスは、7月18日から1台の受入を開始しました。

⑤収集運搬業者の搬入訓練（対象4社）を7月12日～26日の間に実施しました。

⑥環境モニタリングの調査を実施しました。

⑦豊田市主催で豊田市内保管事業者（小口）説明会が8月23～24日に開催され、87事業者の参加がありました。JESCO 豊田事業所から保管事業者の受入時の手続きや処理時期等についてご説明しました。

⑧定期点検（H19 2/3回目）を8月20日～8月29日間に実施し、定期点検期間中は操業を停止しました。

⑨P C B 廃棄物収集運搬業者2社の認証식을8月27日に実施しました。

⑩総合防災訓練を9月6日に実施しました。

2. これまでの処理状況について

(1) PCB廃棄物の受入状況について

平成19年8月末現在

	PCB廃棄物の種類及び数量(台)				
	トランス類			コンデンサ類	廃PCB等
	大型	小型	車載		
(試運転時) 平成17年6月～ 平成17年8月	1	5	8	588	(※1) 33

平成17年 9月	4	16	0	427	0
平成17年10月	4	12	0	490	0
平成17年11月	3	14	0	239	0
操業停止 (H17. 11. 22～H18. 7. 18)					
平成18年 7月	0	0	0	0	0
平成18年 8月	1	0	0	0	0
平成18年 9月	4	7	0	133	0
平成18年10月	4	12	0	322	(※2) 1
平成18年11月	4	10	1	329	0
平成18年12月	1	12	1	(1) 214	0
平成19年 1月	2	11	1	173	0
平成19年 2月	0	0	0	21	0
操業停止 (H19. 2. 14～H19. 6. 27)					
平成19年 6月	0	0	0	0	0
平成19年 7月	1	8	2	128	0
平成19年 8月	1	4	0	175	0
操業期間 合計	29	106	5	(1) 2,651	1

(注1) : トランス類とは、変圧器、変流器、リアクトル等を含む。

(注2) : 大型トランスとは重量が1.62tを超えるもの又は大きさがH=1.57m、L=1.22m、W=0.93の内どれか一つでも超えるもの

(注3) : 廃PCB等とはドラム缶やペール缶

(※1) ドラム缶33本(計7,330kg)、(※2) ドラム缶1本(352kg)

(注4) コンデンサの() 数量は、連結コンデンサの受入台数の内数。

(2) PCB廃棄物の処理状況について

	PCB廃棄物の種類及び数量(台)				
	トランス類			コンデンサ類	廃PCB等
	大型	小型	車載		
(試運転時) 平成17年6月～ 平成17年8月	1	5	8	447	(※1) 33
操業後					
平成17年 9月	3	14	0	387	0
平成17年10月	4	14	0	288	0
平成17年11月	3	11	0	316	0
(安全性・健全性の検証時) 平成18年5月～ 平成18年6月	1	3	0	18	0
平成18年 7月	0	0	0	21	0
平成18年 8月	0	0	0	5	0
平成18年 9月	5	7	0	293	0
平成18年10月	4	12	0	308	(※2) 1
平成18年11月	4	10	1	370	0
平成18年12月	1	12	1	(1) 225	0
平成19年 1月	2	6	1	120	0
平成19年 2月	0	0	0	0	0
操業停止 (H19. 2. 14～H19. 6. 27)					
平成19年 6月	—	—	—	—	—
平成19年 7月	1	13	2	104	0
平成19年 8月	1	4	0	171	0
操業期間 合計	29	106	5	2,626	1

(注1)：トランス類とは、変圧器、変流器、リアクトル等を含む。

(注2)：廃PCB等とはドラム缶やペール缶

(※1) ドラム缶33本 (※2) ドラム缶1本

(注3)：コンデンサの() 数量は、連結コンデンサの処理台数の内数。

(参考) PCB処理量

	純PCB処理量 (kg)
平成17年 9月	8, 798
平成17年10月	10, 857
平成17年11月	7, 176
操業停止 (H17. 11. 22~H18. 7. 18)	
平成18年 5月	4, 479
平成18年 6月	2, 223
平成18年 7月	3, 130
平成18年 8月	1, 963
平成18年 9月	7, 573
平成18年10月	11, 509
平成18年11月	13, 191
平成18年12月	11, 075
平成19年 1月	7, 772
平成19年 2月	794
操業停止 (H19. 2. 14~H19. 6. 27)	
平成19年 6月	82
平成19年 7月	4, 524
平成19年 8月	5, 155
合 計	100, 301

(注) 上記数量には試運転時のトランス・コンデンサのPCBが含まれます。

(注) 平成18年5月、6月は、安全性・健全性検証時等の運転に伴う払出。

(3) 処理済み物の払出状況について

① 鉄 (容器・鉄心)

	払出回数(回)	払出量(kg)
平成17年 9月	0	0
平成17年10月	11	17, 576
平成17年11月	5	7, 103
操業停止 (H17. 11. 22~H18. 7. 18)		
平成18年 5月	1	1, 520
平成18年 6月	2	1, 052
平成18年 7月	2	5, 116
平成18年 8月	5	6, 067
平成18年 9月	3	7, 693

平成18年10月	11	21,922
平成18年11月	4	13,745
平成18年12月	4	15,022
平成19年1月	5	14,296
平成19年2月	0	0
操業停止 (H19.2.14~H19.6.27)		
平成19年6月	0	0
平成19年7月	3	7,337
平成19年8月	4	11,826
合計	60	130,275

(注) 平成18年5月、6月は、安全性・健全性検証時等の運転に伴う払出。

② 銅

	払出回数(回)	払出量(kg)
平成17年9月	0	0
平成17年10月	1	171
平成17年11月	0	0
操業停止 (H17.11.22~H18.7.18)		
平成18年5月	1	370
平成18年6月	1	880
平成18年7月	2	1,759
平成18年8月	1	329
平成18年9月	1	880
平成18年10月	3	4,250
平成18年11月	1	1,144
平成18年12月	1	1,508
平成19年1月	3	3,814
平成19年2月	0	0
操業停止 (H19.2.14~H19.6.27)		
平成19年6月	0	0
平成19年7月	3	2,775
平成19年8月	1	1,290
合計	19	19,170

(注) 平成18年5月、6月は、安全性・健全性検証時等の運転に伴う払出。

③ 廃TCB

	払出回数(回)	払出量(k g)
平成17年 9月	0	0
平成17年10月	0	0
平成17年11月	1	6, 318
操業停止 (H17. 11. 22~H18. 7. 18)		
平成18年 7月	0	0
平成18年 8月	0	0
平成18年 9月	0	0
平成18年10月	2	12, 147
平成18年11月	1	7, 753
平成18年12月	1	7, 267
平成19年 1月	1	3, 079
平成19年 2月	0	0
操業停止 (H19. 2. 14~H19. 6. 27)		
平成19年 6月	0	0
平成19年 7月	1	2, 766
平成19年 8月	1	3, 087
合 計	7	42, 417

④ 液処理残渣

	払出回数(回)	払出量(k g)
平成17年 9月	3	30, 079
平成17年10月	7	76, 323
平成17年11月	5	56, 180
操業停止 (H17. 11. 22~H18. 7. 18)		
平成18年 5月	1	11, 173
平成18年 6月	2	22, 360
平成18年 7月	1	11, 024
平成18年 8月	2	22, 834
平成18年 9月	4	44, 740
平成18年10月	6	67, 785
平成18年11月	7	79, 823
平成18年12月	7	78, 462
平成19年 1月	4	44, 675
平成19年 2月	1	10, 843
操業停止 (H19. 2. 14~H19. 6. 27)		
平成19年 6月	0	0
平成19年 7月	1	10, 602

平成19年 8月	3	32,606
合 計	49	599,509

(注) 平成18年5月、6月は、安全性・健全性検証時等の運転に伴う払出。

⑤ 含浸性部材

	払出回数(回)	払出量(k g)
平成17年 9月	5	7,869
平成17年10月	2	7,898
平成17年11月	3	10,670
操業停止 (H17.11.22~H18.7.18)		
平成18年 3月	2	1,916
平成18年 7月	1	2,603
平成18年 8月	1	1,641
平成18年 9月	3	6,898
平成18年10月	4	6,843
平成18年11月	5	11,044
平成18年12月	3	5,759
平成19年 1月	2	1,881
平成19年 2月	0	0
操業停止 (H19.2.14~H19.6.27)		
平成19年 6月	0	0
平成19年 7月	2	4,448
平成19年 8月	2	5,096
合 計	35	74,566

(注) 平成18年3月は、操業停止期間中であつたが可燃性の廃棄物につき払出。

⑥ 碍子等

	払出回数(回)	払出量(k g)
平成17年 9月	1	688
平成17年10月	0	0
平成17年11月	1	742
操業停止 (H17.11.22~H18.7.18)		
平成18年 7月	0	0
平成18年 8月	2	788
平成18年 9月	2	238
平成18年10月	2	566
平成18年11月	2	798
平成18年12月	2	429
平成19年 1月	2	402
平成19年 2月	0	0

操業停止		(H19. 2. 14~H19. 6. 27)	
平成19年 6月	0	0	
平成19年 7月	1	144	
平成19年 8月	1	436	
合 計	12	5,231	